

■「災害に強い、安心して暮らせるまち」(香川県綾川町)



綾川町長 藤井 賢

■ 効果の見える治水事業

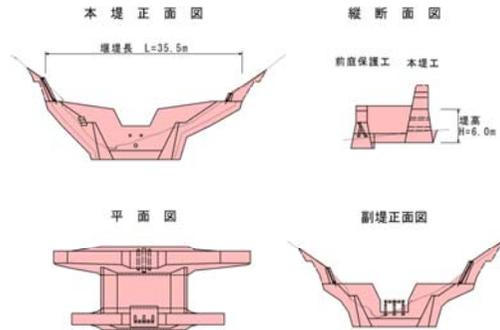
香川県 相津川 (綾歌郡綾川町) の砂防事業
『相津川 災害関連緊急砂防工事』



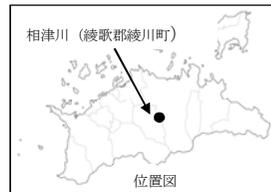
香川県中讃土木事務所長 氣多 拓夫

事業箇所 綾歌郡綾川町
事業期間 平成 27 年度～平成 28 年度
全体事業費 92 百万円
事業計画 砂防堰堤 1 基

堤 高 H=6.0m
堤 長 L=35.5m
堤体積 V=721m³
貯砂量 Vs=1,148m³
前庭保護工 N=1 式
流域面積 (堰堤地点)
0.18km²



本溪流は、綾歌郡綾川町と高松市塩江町との境付近に位置し、綾川水系田万川に流れ込む流域面積 0.19 km²、平均溪床勾配 1/3.5 の土石流危険渓流です。下流域には保全対象として人家 4 戸や高松市道、綾川町の指定緊急輸送路である町道が存在します。



当流域では、平成 27 年 7 月に発生した台風 11 号に伴う大雨により、流域内で山腹崩壊を起因とした土石流が発生しました。現地調査の結果、溪床勾配の緩い箇所や狭窄部での閉塞が起こり、土砂や流木の堆積が確認されました。この土石流による人的被害等はありませんでしたが、不安定な土砂等による二次災害発生のおそれがあったことから、災害関連緊急砂防事業により対策を行うこととなりました。

当事業は平成 27 年度に工事発注を行い、関係する綾川町や香川森林管理事務所と連携、協議しながら、地元住民の皆様のご協力のもと、平成 29 年 3 月に完成しました。



完成した堰堤



山腹崩壊箇所

香川県のほぼ中央に位置する綾川町は、平成 18 年 3 月に綾上町と綾南町が合併して誕生しました。人口は約 24,500 人、総面積 109.75 km²。東は県都である高松市、西は城と「うちわ」の町で知られる丸亀市、南は満濃池で有名なまんのう町、北は瀬戸大橋の基点である坂出市とそれぞれ接しています。町の南部には山林が広がり、北部は小山に囲まれた起伏の多い丘陵地が形成されています。町名の由来ともなった綾川は、南東部の山中に源を發して北西部に流れ、府中湖を経て坂出市に流入しています。綾川の上流の柏原溪谷は讃岐百景の一つになっており、水と緑の豊かな美しい自然が広がっています。

本町では、平成 16 年 10 月台風 23 号により、土砂崩れ、大雨による浸水等、甚大な被害を受けました。さらに、平成 27 年 7 月には、台風 11 号に伴う大雨により、土石流危険溪流相津川において土石流が発生しており、人的被害や家屋被害等はありませんでしたが、関係自治会には大雨時早めの避難を呼びかけています。本町は、そのことから、より安全で安心な町づくりを目指し、治水事業の推進、ハザードマップの全戸配布を行うと共に、住民の防災意識を高めるために自主防災組織の推進に励み、平成 29 年度には自主防災組織が 135 組織、約 2950 世帯が加入する現状となっています。毎年秋には自主防災組織が主体となり広く住民参加のもと、防災訓練を実施しています。

今後も、国県の関係機関、消防機関、自主防災組織をはじめとした地域住民と連携を強化して「災害に強い、安心して暮らせるまち」を推進していきたいと考えております。



住民参加の防災訓練状況



住民参加の防災訓練状況



危険箇所を話し合う地図訓練状況



危険箇所を話し合う地図訓練状況